



# 志岐小通信 麟泉の風

校訓「かしこく」「やさしく」「たくましく」

令和4年度 10月20日 第6号 文責：栗原 克浩

## 《成果を上げる2学期 ～学び合う授業を通して～》



私たちは、生活上の問題に出くわした時、まず自分で考え、話し合いにより他者から情報を得て、最終的に自分の考えをまとめ解決します。これは、将来的にも仕事と生活の上で大変重要な力です。

志岐小では、今年度この力を高めることを授業の最重点として取り組んでいます。「自分の考えを出し合うことはできるが、意見交換して深め合うには至らない」ことが昨年度までの反省でした。

児童間の深め合いを実現する手立てとして、「ペアや班学習の設定」「理由の相違から協議できるように理由を明確に」、「意見を関連付けるために似ている・付け加えを言う」等、学年の実態に合わせて取り組んでいます。「あーなるほど」、「んーよく分からない」等、児童間の話し合いに伴う自然な反応が見られると共に、聞き手がわかりやすい説明ができる児童が増えてきました。

2学期は、毎週1～2回のペースで研究授業を行っています。児童の学びの姿を評価し職員間で智恵を出し合い協議することで、学力向上のための授業づくりに励んでいます。将来にわたり必要となる「学び合い」の力を、小学校時代においてしっかりと育成したいと思います。

## 実現！ ～ 全員参加の修学旅行 ～

昨年度コロナ禍で宿泊訓練ができなかった6年生において、全員参加の修学旅行を実現できたことを本当に嬉しく思います。連休中の不要な外出の自粛等、みんなで頑張った感染対策の成果に心より感謝いたします。

さて、今回は3つのめあてが達成できた素晴らしい修学旅行となりました。1つ目は平和学習の充実です。事前の調べ学習による知識に加えて、語り部さんの講話等を通じ、「目・耳・心」をと



おして体験的に学び、血の通った知識とすることができました。2つ目は「自立の力」の育成です。学びと遊びのけじめ、時間厳守の集団行動、挨拶と返事等、



普段の学校での取組を校外においても実践し、様々な人から高い評価をもらいました。3つ目は思い出づくりです。旅行中、「ちょー楽しい」という言葉を何度聞いたことでしょうか。普段から仲の良い学級ですが、友だちと初めて寝食を共にすることで一層のきずなの深まりを感じました。

小学校生活も残り半年です。「頭・心・体」共にしっかりと育て、自信を持って中学校に送り出したいと思います。

## 【学校教育目標】

# 「自分大好き、友だち大好き、志岐小大好きと 笑顔でいえる子どもを育てる」

～ふるさと『志岐』を愛し、地域に

積極的に貢献する人材の育成～



【志岐小HP QRコード】

☆志岐小として身につけさせたい力「思いやりの心」「学び続ける力」「健康」「絆」

## 出たぞ！ 自己ベスト「4小陸上記録会」

全力で取り組んだ5・6年生参加のすばらしい陸上記録会が実施できました。本来「記録会」なるものは、自分の力や記録を確認する場です。しかし、町内4小学校児童が一堂に会し競い合うことで、日頃以上の力を発揮し自己ベストを更新した児童も多くいたようです。陸上競技は全ての運動の基礎となる種目です。今回は「走る」「跳ぶ」競技を行いました。サッカー、バレー、テニスなどの他の種目も、今回の「走力」、「跳躍力」を使って取り組む運動です。その意味で陸上記録会に向けて他の種目にもつながる身体能力を高めたことは、大変有意義でした。5・6年生は学校のリーダーです。今回の陸上記録会で見せた「全力で取り組む姿」を今後の学校生活でも発揮し、学校を引っ張ってほしいと思います。



今回坂瀬川公民館運動場での実施にあたり、数日間かけて会場整備をいただいた坂瀬川小学校及び地域の方々には心より感謝したいと思います。

## 【11月の行事予定】

1	火	くまもと教育の日
2	水	
3	木	文化の日
4	金	児童集会（図書） 火災避難訓練
5	土	
6	日	
7	月	毛筆指導6年 読聞かせ・歴史講話
8	火	クラブ活動、3年クラブ体験 毛筆指導5年
9	水	
10	木	学習発表会準備
11	金	学習発表会 給食試食会（1年保護者）
12	土	
13	日	
14	月	読聞かせ
15	火	
16	水	毛筆指導4年
17	木	毛筆指導3年
18	金	学校訪問
19	土	
20	日	
21	月	人権旬間・縦割り掃除～12/2 読聞かせ
22	火	
23	水	勤労感謝の日
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	毛筆指導6年
29	火	毛筆指導5年
30	水	

## 注意願います！「イノシシ出没」

学校は、児童の安全を最優先して教育活動を進める場です。再三メールで連絡しました通り、学校周辺にてイノシシが出没しています。自然豊かな天草の地においても、餌を求めて山から人里まで下りてきているのでしょうか。目撃されるイノシシは、大きさから同一のものであると思われる、朝夕の出没が多く、野生動物の習性で決まった動きをしているようです。目の前の野生動物の捕獲は難しいようで、役場や警察等の関係機関と連携するとともに、児童には「刺激しないよう静かに離れる」ことを繰り返し指導しています。ご家庭におかれましても、地域での生活の安全確保のために、注意喚起をどうぞよろしくお願いいたします。

